

■ 連合福島新型コロナウイルス調査結果 各組合の厳しい現状が浮き彫りに

連合福島は、5月22日（金）に新型コロナウイルス感染症等がおよぼす影響調査（第3回）と医療・介護関連調査の中間報告を発表し記者会見を行った。今野会長は、「政府の緊急事態宣言が一部解除され、福島県も一部の業種を除き緊急事態措置が解除された。世界的混乱と活動自粛は、経済に深刻なダメージを与え、新しい生活様式は、社会のコミュニケーションを寸断し、多くの仲間が孤立している。このような状況で、連合福島は、今現場で何が起きているのかを捉え、組合員の負担や不安を払しょくし支えとなれるようしっかりと対応してまいりたい。」と挨拶した。



【冒頭あいさつする今野会長】



今回の調査結果では、特に景気の先端にさらされる中堅中小の組合への影響が表れており、雇用と生活を守る組合の苦勞がにじみ出る結果となった。また、感染症対策の第一線で奮闘いただいている医療・介護関連では、業務多忙や装備品の不足などによりストレスが非常に高くなっている。新しい生活様式などによって、孤独や不安を抱え、体調不良になることも否定できない。引き続き、調査結果を踏まえた取り組みを進める。

■ なんでも労働相談ダイヤルの取り組み強化

連合福島は4月9日から5月20日までの間に、合計で37件の労働相談を受けた。相談の主な内容は、休業補償が最も多い。政府の示す補償や支援制度が矢継ぎ早に出される一方で、制度内容の不足もあり、働く側の不安や不満が相談につながっていると思われる。また、政府の補償や支援制度は、一元的な管理や対応が不足しており、相談者はワンストップでの問題解決を望んでいる。これらを踏まえ、常設の労働相談ダイヤルの取り組みに加え、6月15日から20日の間で、新型コロナウイルス感染症に特化した労働相談を実施し、組合員の不満や不安解消につなげていく。

※連合福島「新型コロナウイルス対策本部」ニュースは連合福島ホームページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染症特設ページ

URL・・・<https://www.rengo-fukushima.jp/category/corona>

◎お問い合わせ先

連合福島 組織広報局：遠藤・渡邊、労働局 阿部、政治政策局 竹岡

電話：024-522-0500 メール：rengo-fukushima@bz01.plala.or.jp